

騙されず、流されず、しっかり声を上げていこう！

執行委員長 小林國博

組合員と家族そして仲間の皆さんに年頭の挨拶を申し上げます。

去年は職場と地域からの闘い、本当にご苦労様でした。

皆さんの日夜にわたる献身的な活動に敬意を表します。

にもかかわらず去年は「戦前への回帰」とも言える年になってしまいました。

安倍政権は9月に安全保障関連法を成立しました。

9月19日、国内の朝日、毎日、読売、産経、東京の在京新聞5紙は1面に、法案成立への賛否を示す論文を掲載しました。

【朝日新聞】

「憲法に抵触する疑いが強い法制だ。成立してもなおその是非を問い続ける」

【毎日新聞】

「国民の支持のない自衛隊の海外派兵はあってはならない」

【東京新聞】

「法律が成立しても国民多数が望まぬなら不用にできる」

【読売新聞】

「強大化する中国と向き合い、必要最小限の抑止力を維持できるようになる」

【産経新聞】

「自国存立のために集団的自衛権を行使できるようにするのは当然だ」

各紙でここまで論調が違います。それはまだこの国が、言いたいことが言える・書きたいことが書ける状況だということかもしれませんが、皆さんはどう思われますか？

沖縄から米軍基地がなくなることはありません。否、この国から米軍基地がなくなることは許されないことなのかもしれません。他国の軍隊が駐留し続ける国とはどんな国なのでしょう？皆さんはどう思われますか？

福島状況は今も変わりません。あれほどの大事故を起こして、無数の人々の家や自然を奪い破壊しておきながら、誰もその責任を問われていません。警察はなぜ東京電力へ捜査に入らないのでしょうか？皆さんはどう思われますか？

主犯者はいったい誰なのでしょう？自らの間違いを認めて政策転換をする勇気のない官僚組織なのでしょう？それとも、原発利権をあきらめきれない政

治家なののでしょうか？それとも、核武装の夢を見続けているグループなののでしょうか？いずれにしろそれは、原発の再稼働によって利益を得る勢力だということです。

問題はこれを止める私たちの勢力です。現在の政治を見て、沖縄を見て、福島を見て、あなたはどう思われますか？

「俺は自衛隊とか集団的自衛権に関心がなかったから反対の意思表示をしなかった」「俺は沖縄に関心がなかったから反対の意思表示をしなかった」「俺は福島に関心がなかったから反対の意思表示をしなかった」しかしその犠牲が自分と家族に強いられた時、「私は身の危険を感じ反対の声を上げたが、その時はもう遅かった」とならないようにしなければならないと思います。

皆さんもご存じの通り、ナチスによる大量虐殺の犠牲者になったユダヤ人たちは、指示された時間・場所に集まって、おとなしく収容所へ向かう汽車に乗りました。

処刑場所に行くと、自分の墓穴を掘り、裸になって服をきれいにたたんで積み上げ、射殺されるために整然と並んで横たわりました。

なぜ自分たちは1万5000人もいるのに、数百人しかいない監視兵と死に物狂いで闘わなかったのでしょうか？

これと同様なことが、まさに現在の日本人に問われている問題だと思います。

なぜ自分たちは、人類史上最悪の原発事故を起こした政党の責任を問わず、翌年（2012年）の選挙で大勝させてしまったのか？

なぜ自分たちは、子どもたちの健康被害に目をつぶり、被曝した土地に被害者を帰還させ、いままた原発の再稼働を容認しようとしているのか？

なぜ自分たちは、そのような『民衆を屈服させるメカニズム』について真正面から議論せず、韓国や中国といった近隣諸国ばかりをヒステリックに攻撃しているのか？

騙されないように、流されないように、真実を見極めなければなりません。

私たちの会社・職場も今後更に安全を無視した効率化が強行されます。

その効率化を実現させるために「言いなりになる社員づくり」と「言いなりになる労働組合づくり」が強化されます。そこに人間性など存在しません。命令と服従です。

組合員の皆さん！だからこそ私たちは今年も仲間と体を大切にしていましよう！

仲間に対するボーナスカット攻撃を許さず、更なる闘いを展開しましょう！

職場の主人公として、おかしい事には「おかしい！」としっかり声を上げて行動していきましょう！



本年もよろしくお祈りします。